

# 宇部 マグ (苦土肥料)



当社の苦土肥料(宇部マグ)は生石灰と海水中にあるマグネシウム・各種ミネラルを濃縮、精製し作られた水酸化マグネシウムを基にして長年培ってきた独自の技術で製造しております。

これらは、昭和31年に水酸化苦土肥料の登録を行なって以来、長い生産販売実績をもっております。

また宇部マグは海水中にある多くの微量成分も含んでおり、作物に非常に吸収され易く、有害な重金属等の心配がない安全で環境にやさしい高純度苦土肥料です。

## ● 宇部マグの特徴

1. 硫酸マグの約3倍、苦土石灰や珪カル等の7～10倍のマグネシウムを含み、最高純度の苦土肥料です。
2. 弱い根酸や有機酸によく溶け効率よく利用されます。
3. マグネシウムの他、ホウ酸、珪酸、石灰など微量元素を含み、これらの補給と、土壌の酸性矯正も同時にできます。

## ● くよう性苦土60%保証

### ● 施用量 (20kg 袋/10アール)

※標準量ですので、欠乏状況、土壌条件に応じ増減してください。

みかん	12～2月	3袋	野菜(元肥)	2～3袋
	9月	2袋	稲	1～2袋
りんご	3月または5～6月	3袋	麦	1～2袋
	8月～9月	3袋	工芸作物(たばこ、桑等)	2～3袋
落葉果樹	12月～2月	3袋		
	5月～6月	2袋		



20kg 紙袋

## 苦土肥料 (MgO) Q&A

Q1	苦土(マグネシウム)は肥料の五要素に入っていますか？
A	肥料の三要素は、窒素・りん酸・加里です。これに続く四要素目がカルシウム、五要素目がマグネシウムです。
Q2	マグネシウムが少ない土壌だと野菜はどうなりますか？
A	マグネシウムは葉緑素の主要成分で、作物体内の成長の盛んな部位へ移動しやすいため、マグネシウムが欠乏すると古い葉が黄化し生育が抑えられます。水稻では、このようにはっきりとした症状は出ませんが葉色のむらが発生します。
Q3	土の中のマグネシウムはどうなっていますか？
A	土の粒子は(-)に荷電しているので(+)の電荷を持つマグネシウムが引き寄せられ吸着し、根から吸収され、植物体内に移動できない多量要素、微量元素を速やかに植物体内に取り込み運搬する大切な役割をします。
Q4	酸性土壌による影響はどのようなものが考えられますか？
A	土の中のカルシウムやマグネシウムが減少してくると、アルミニウムやマンガンなどが溶けやすくなり、作物に必要な養分の吸収や有効微生物の活動が抑えられてしまいます。
Q5	苦土肥料の特徴は？
A	土壌と緩やかに反応し、効果が持続しますのでマグネシウムの養分補給ができます。

マグネシア・カルシアの総合メーカー  
宇部マテリアルズ株式会社

お問い合わせ先 〒755-8510 山口県宇部市大字小串 1985 番地  
マグネシア関連事業部 販売部 TEL(0836) 31-0608 FAX(0836) 21-0080